

市政レポート 気持ち新たに市政に臨む 横浜市会議員 伏見ゆきえ



自民党戸塚区連合支部女性局次長
伏見ゆきえ
 1968年2月24日、川崎で誕生 2歳で横浜へ
 私立橋女子高等学校卒業、歯科医院に勤務、東京中央ヤクルト販売(株)ヤクルトレディーに、
 歯科医院に勤務、2015年横浜市会議員初当選
 -----連絡事務所-----
 戸塚区上倉田町389の102
 ☎045・443・5757 ☎045・443・5671
<http://fushimiyukie.com/>

真新しいランドセルを背負った児童や大きめの制服を着た学生を街中で見かけると「さあ、新年度が始まった」と、つい意気込んでしまいます。新たな始まりを迎え、身を引き締め今年度も活動に取り組み所存です。

市会は既に30年度が動き出していますが、29年度に所属したことも青少年・教育委員会と副委員長を務めた観光・創造都市・国際戦略特別委員会についてご報告をいたします。

取り組みで私が注目するのは「弁護士士の活用による法律相談支援事業」と「学校司書・理科支援員の配置」となります。いずれも児童や生徒またその保護者、環境を配慮した内容となつていますが、委員会は取り組みを現場に一任せず、共に取り組むことが必要だと思います。

また特別委員会では「横浜の魅力をつなぐ・拡げる」をテーマに1年間議論してきました。その中でPR方法ひとつ取り上げても国内外に向けてそれぞれの打出しの仕方や西洋・東洋の好みや感性の違いなどが浮き彫りになってきました。こうした差や違いを上手く活かした広報が必要だと強く感じました。

今年度の教育委員会の

交流の地アフリカ・アビジヤンへ
 昨年9月にコートジボワール共和国アビジヤン自治区のロバール・ボグ

ル・マンベ知事が横浜を訪れ、交流協力共同声明を実施した経緯を踏まえ、4月22日から27日まで、同国への視察に参加しました。同地では急激に人口が増え、インフラ整備が追い付かないとのこと。そのため市の過去の経験を活かした協力を行えるのではないかと道路局や水道局、資源循環局の職員も同行しました。



在京アフリカ外交団との親善試合に備えて、所属する横浜市会議員フットボールクラブでの練習に参加しました。